

伊豆シャボテン動物公園

人工哺育の『ミナミコアリクイ』の赤ちゃん 12/25（水）～公開授乳開始

2019 年 12 月 23 日
株式会社伊豆シャボテン公園



人工哺育開始間もない頃の「トト」



最近の様子 ※2019.12.21 撮影

伊豆シャボテン動物公園では、2019 年 11 月 24 日（日）に誕生した『ミナミコアリクイ』の赤ちゃんを人工哺育しており、現在、生後 3 週間を過ぎ順調にすくすくと育っています。

ミナミコアリクイの赤ちゃんはオスで、父「ドン」（サンシャイン水族館生れ、推定 11 才以上）と母「ココア」（伊豆アニマルキングダム生れ、7 才）の間に生まれ、名前は「トト」と名付けました。母親は 4 度目の出産で、今年の 3 月 5 日に生まれたお兄ちゃん「コン」の時も育児ができず、今回も育児をしなかった為、赤ちゃんが衰弱する前に飼育員が保護しました。以降、飼育担当者が親代わりとなり保育器に入れて人工哺育を開始、保護当初は体重 201g ほどで 1 日 6 回約 3 時間おきに授乳をしていましたが、現在は 400g を超え順調に成長しています。

12 月 25 日（水）12 時 30 分頃～毎日同時刻にて、園内第五温室ミナミコアリクイ展示場にて、公開授乳を行います。動物の体調を見ながら開催するため予告なく中止する場合があります。

お問い合わせ先：株式会社伊豆シャボテン公園 企画広報部

TEL:0557-51-1115(代) URL:<https://shaboten.co.jp/>

〒413-0231 静岡県伊東市富戸 1085-4





兄にしがみつく
「トト」



「顔合わせ」の時は母親の
背中に乗せることも。
母（ココア）と「トト」

（自然界では子離れをする
まで母親がおんぶをして育
てるため）

－ ミナミコアリクイとは －

【学 名】 *Tamandua tetradactyla*

【英 名】 Southern tamandua, Lesser anteater

【分 類】 有毛目アリクイ科コアリクイ属

【分 布】 ブラジル、ベネズエラ、パラグアイなどの南米北中部

【体 長】 頭胴長 35～90cm、尾長 35～70cm

【体 重】 3.5～8.5kg

※「トト」は頭胴長 23cm、尾長 17cm、体重 431g（2019.12.21 現在）

【生 態】 黒色のベストを着ているように見える背中の V 字型の模様が特徴。樹上で生活をするため、尾の内側に毛は生えておらず木に巻き付けて移動ができる。前肢の大きなカギ爪も特徴で、この爪は木登りだけでなく威嚇をしたりアリ塚を壊したりするのに役立つ。壊したアリ塚やハチの巣から、アリ、白アリ、ハチなどを 40cm ほどにもなる長い舌を使って舐めとるように食べる。最近の研究では、ミナミコアリクイのメスは平均して約 44 日間の発情周期があることが分かっており、妊娠期間は 130～190 日ほど、1 回の出産で 1 頭の子を産む。

生後初日からほぼ毎日、体調に注意しながら温室内のジオラマ通路にあるミナミコアリクイの展示場で両親（父：ドン、母：ココア）と兄（コン）と「顔合わせ」をしています。今後は離乳期がある程度終わる 3～4 ヶ月ほどを目途に、両親のもとへ戻れるように訓練を続けていきたいと考えています。

※「顔合わせ」の時間は「トト」の授乳のタイミングや体調により日によって異なり、中止する場合があります。

伊豆シャボテン動物公園

〒413-0231 静岡県伊東市富戸 1317-13

TEL:0557-51-1111(代) URL:<https://izushaboten.com/>

【入園料金】中学生以上 2,400 円、小学生 1,200 円、幼児(4 歳以上)400 円

【営業時間】〈3 月～10 月〉9:00～17:00、〈11 月～2 月〉9:00～16:00